



# あにまるつうしん No.2



R5.5.25

戸外活動を通して、自然に触れる機会が多く、自ら触れてみようとする子が増えてきました。その中で、ダンゴムシに興味を持っている子どもたち。日を増すごとに、ダンゴムシとの距離が近くなってきているように感じます。

## 等覚寺の原っぱにて

等覚寺の原っぱでは、たくさんの草花や、虫に触れ合うことができます。子どもたちは、散歩バックに自分のお気に入りの虫や草花を入れて、「これママにあげる」と言い、虫や草花を入れていきます。一生懸命、虫や草花を散歩バックに入れている姿がとても可愛らしいです♡等覚寺に着くと「ダンゴムシおるかな?」と言い、ダンゴムシを探す子どもたちです。



「ここに  
入れる～」



以前等覚寺に来た際、保育者が木の下にある、マットをめくり、ダンゴムシを探していたことを覚えていた M ちゃん。等覚寺に着くと、マットをめくり黙々とダンゴムシを探していました。



「ダンゴムシ  
動いどるわ」

保育者が捕まえた、ダンゴムシを「ちょうだい!」と言い指でつまんで散歩バックに入れた N ちゃん。散歩バックの中で動くダンゴムシをじっくり観察していました。

「見せて!  
見せて!」



## 日吉神社にて

日吉神社に散歩に行きました。日吉神社にある、大きな切り株の穴の中にダンゴムシがたくさんいます。子どもたちは、切り株の所で保育者と一緒にダンゴムシ探しを楽しんでいます。

いつもは、保育者の手のひらに乗せて観察していましたが、この日はみんなで観察できるように、ポウルを持っていきました。捕まえたダンゴムシを保育者がポウルの中に入れて、ポウルの中で動くダンゴムシを、指でつつんしながら友達と一緒に観察を楽しんでいました。

### 日吉神社の切り株



「ちょっと  
見せて～」

「動いた!  
動いた!」



初めてダンゴムシを触った S ちゃん。つつんするごとに動くダンゴムシの様子を見て「うわ!」「きゃははは～」と触るごとに手を引っ込めていましたが、興味津々で何度も触れていました。

### ★Gくんのほっこりエピソード★



ダンゴムシを触ることができるようになった G くん。触れるようになったことが、嬉しくてダンゴムシを触って観察を楽しんでいました。しかし、ダンゴムシを触りすぎてしまい動かなくなってしまいました…。

あわわ…。



「ダンゴムシさんねんねしとる。おふとん、おふとん」と言い、動かなくなったダンゴムシに、そっと葉っぱをかけてあげていました。「ねんねころりよ～♪」と子守歌までうたってくれていましたよ。

その姿を見て…。



「なにしとるん?」と Y くんが近づいてきました。「ねんねしとるし、しー」と G くんが言いました。

すると、そっと葉っぱをめくり、「しー」と言っていた Y くんでした。二人で「しー」と言い合っていた姿がとても可愛らしかったです!!優しい姿に、ほっこりしました。

虫や自然と関わる中で、友だちのダンゴムシに触れている様子を覗き込んで見たり、友だちの様子を見て、触れてみようとしたり様々な姿が見られるようになってきています。引き続き、虫探しや自然に触れることを楽しめるようにしていきたいと思っています。